

第35回日本木管コンクール
(フルート部門)
会場:東条文化会館コスミックホール
発行日 2024年11月10日(日)
(第3号)

ほっとねっと

発行:日本木管コンクール委員会
〒673-1311
兵庫県加東市天神66
Tel 0795-47-1500



本選出場者 4名決定



No.25 若狭 知恵



No.78 内山 貴博



No.45 藤野 瞳子



No.67 三原 奏音

コンクール3日目。二次予選出場の演奏者14名の緊張感でホール全体がピリッと張り詰める。
午後6時30分、審査発表で本選出場者4名が決定した。
フルートという楽器の魅力を最大限に活かし、確かな技術と表現力が問われる。いずれ劣らぬ音の求道者たち、力の限り悔いのない演奏を期待する。
今日は、大会審査員と並行して、一般聴衆の審査員が最も感動を得た演奏者を選ぶ「コスモス賞」の選出も行われるが、このコスモス賞審査も第5回のコンクールから数えて今年で30回目。
第35回日本木管コンクール本選とコスモス賞の最終結果は、いよいよ本日の表彰式にて発表される。



二次予選審査発表を待つ出場者

栄光は誰の手に！

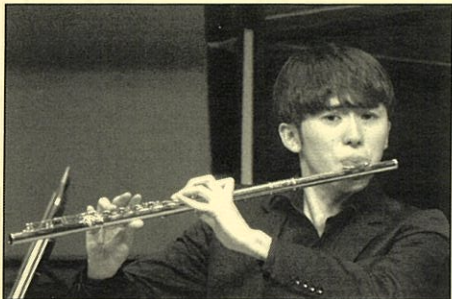
いよいよ最終審査！ 12時30分スタート

演奏順	開始時間	エントリーNo.	氏 名	伴 奏 者	演 奏 曲 目
1	12:30	25	若狭 知恵	金澤 みなつ	①一柳慧: 忘れえぬ記憶の中に (2000) ②W.A.Mozart: Konzert G-dur K.313
2	13:05	78	内山 貴博	内門 卓也	②W.A.Mozart: Konzert D-dur K.314 ①Salvatore Sciarrino: Cresce veloce un cristallo (2017)
3	13:55	45	藤野 瞳子	大堀 晴津子	②W.A.Mozart: Konzert D-dur K.314 ①Kalevi Aho: Solo III For solo Flute II Presto (1990)
4	14:30	67	三原 奏音	與口 理恵	②W.A.Mozart: Konzert D-dur K.314 ①H.Holliner: Sonate (in)solit(air)e より抜粋(1995)

本選 演奏曲目

①②を演奏する

- ① 1985年以降の作品
無伴奏であること
通常のフルートのみ使用可
マイク・アンプなどの使用は不可
2024年9月時点で出版されているものに限る
6分以内にまとめる(カット可)
- ② つぎの2曲のうち、どちらかを選択し、暗譜で演奏する。
W.A.Mozart: Konzert G-dur K.313
W.A.Mozart: Konzert D-dur K.314



加東市東条文化会館
コスミックホール

ホームページ
<http://cosmic-hall.org/>





～二次予選出場者の感想～

- ・とにかく”いつも通り”が大事ですので、発表を聞いてからも”いつも通り”を意識して本番までの時間を過ごしました。伴奏者はよく一緒にいたので私も安心して演奏させていただきました。
- ・結果発表があって練習を済ませた後、ホテル近くのカラオケルームで練習し、今朝もカラオケで練習して気持ちを整えて本番に備えました。難しいところもあったのですが頑張れたかなと思います。
- ・フルートは楽器で音を出しますがその元は歌ですので、フレーズを歌ってから吹いたり歌いながら吹いたり練習をします。初めてではないので、緊張より、お客様がたくさん聞いて頂いているとパワーを頂きより良く吹こうという力が湧いてきます。夕べはぐっすり睡眠をとって参りました。

【玄関先のコスモス・傘菊】

- 来館者をさわやかに迎えてくれます。傘菊は白・黄・赤のまあるく、可愛らしい笑顔で咲き誇り、秋の香りをふりまっています。



コスモスは夏の暑さと雨台風で傷みつけられましたが、今日の日のためにがんばって咲いています。

【ホール玄関の生け花】

秋のいなかの風景の一コマです。古木に色づいた柿の実が二つ、三つ

ききょうやのじぎくも可愛く添えられ、何ともいえないしっとり感がたっています。

【館内のアレンジメント】

館内を彩るのは、秋のバラ、いなかのあぜ道に咲いている野の花のアレンジメントです。バラの香りを嗅いでみて下さい。

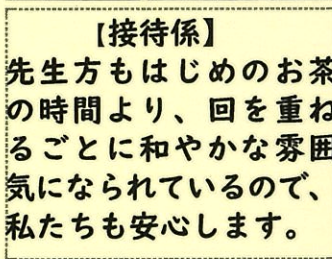


～ボランティアの感想～



【受付係】

受付用のレシピが大変細やかに作られているので、とてもわかりやすく仕事がしやすいです。



【接待係】

先生方もはじめのお茶の時間より、回を重ねるごとに和やかな雰囲気になられているので、私たちも安心します。



【誘導係】

タイムスケジュールに沿って誘導するのが、昨年に比べてスムーズに流れています。



【送迎係】

大変スムーズに、時間通りに進められています。



【ホワイエ受付係】

入ってこられる人は少ないのですが、お友だちや他の人の演奏を聞かれたり 演奏後静かに休まれたりして、よい空間を提供できているなど思っています。

【広報係】

取材のインタビュー、写真撮影、パソコン入力と手分けして、編集・印刷し、この「ほっとねっと」を毎日発行しています。

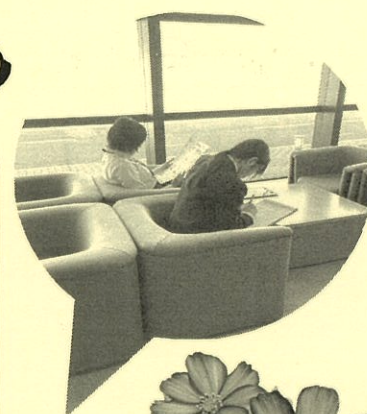
中学生が見つけた いいところ

ホールのひびきがすごーい！！

このホールは横浜にあるホールと同じくらいひびきが良く気持ちよく演奏でき、安心感があるとのこと。演奏を終えた後の皆さんの表情はとてもいきいきとされており、かっこよかったです。演奏者のフルートに向ける強い熱意を感じました。このホールやから、このコンクールが続いている。

中学生が見た日本木管コンクールのすごさ！！

すごーい！！応募者は世界から。日本の木管三大コンクールの一つ。この木管コンクールは全国から、世界各地からも毎年たくさんの方が来られ、外国から来られた方が優勝されたことも。それだけこのコンクールが有名でいろんな方々に愛されてここまで来ているということがわかりました。



温かい笑顔がすてき！！
地域の方が支えて

このホールは地域のボランティアの人たちが支えておられる。「温かく、優しく、とても居心地が良いホール」とコンクールの挑戦者もホールに来られた方も言うて下さり、私もとても気分よくなりました。このような地域とのかかわりは他のコンクールでは味わえないものだと思いました。地域とのつながりはこれからも大切にしていきたい。

木製の看板がすごーい！！

ホール前のコンクール看板。これは地域の木材店の方に提供していただいたものとのこと。今の看板は二代目だそう。それだけ日本木管コンクールが長い間地域の方が愛され、たくさんの方々の学びや憩いの場になっていることがわかりました。

スタッフ・係の方の気くばりがすごーい！！

出場者が「係の人がやさしく声をかけて下さったので気持ちが落ち着いた」と話されていました。係の方もとても親切。誘導の係の方は演奏者があわてないように余裕をもって声がけをされていました。審査員の方への接待は、お菓子は先に、柿の茶菓子には柿の葉を、いちじょうの茶菓子にはいちじょうの葉をしいて、お茶は後で熱々を持っていけるそうです。

審査員の先生がすごーい！！

第35回も続いているのは日本でトップの方が審査員になっておられる事。かつて、このコンクールで優勝された方が審査員になっておられること。と聞いて驚きました。

～加東市ふるさと納税(ふるさと応援活動支援金)によるご支援をお願いいたします～

特定の団体(支援希望団体)に対する寄付の受付を開始しています。
QRコードをスマホ等で読み取っていただくとう加東市ふるさと応援活動支援交付金交付制度のページにつながります。申請用紙については、ホームページからダウンロードできます。
特定の団体(支援希望団体)については、「特定非営利活動法人 “新しい風かとう”」をお願いします。
詳しくはホームページをご覧ください。
また、団体名をクリックすると「特定非営利活動法人 “新しい風かとう”」のホームページをご覧ください。



～日本木管コンクール開催における協賛・ご寄附にご協力をお願いいたします～

日本木管コンクールは、地元の企業や楽器メーカー各位をはじめ、コンクールを応援して下さる個人の皆様の温かいご寄附とご協賛に支えられて取り組みを続けてまいりました。この素晴らしいコンクールと文化の灯を消してはならないのと思い、若手音楽家の登竜門として、また日本の音楽文化の発展に寄与してきた功績をご承知いただき、引き続きこのコンクールを継続していくため、多くの方々にご支援を賜りますよう、皆様のご協力をお願いいたします。
詳しくは「特定非営利活動法人 “新しい風かとう”」又はQRコードをスマホ等で読み取ってご覧ください。

